

# 令和6年度京都府母子寡婦福祉大会及び全体研修会開催要綱

～ つなごう人の輪、守ろう地域の輪 ～

母子に関するテーマ「目指そう自立 活かそう支援策」

母子・寡婦共通テーマ 「未来へつなぐ、世代の輪」

## 1 趣 旨

現在、急速な少子・高齢化のうねりの中にあって、子どもの貧困の解消のため育成、支援が社会全体の大きな課題となっています。

また、景気は緩やかに回復しているといわれるものの、私たち母子家庭や寡婦にとってその実感は乏しいばかりか、不安定な非正規雇用と低収入は依然として改善されず、消費税の引き上げや諸物価の上昇など、生活環境は、ますます厳しい現状です。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症による影響や諸物価の高騰は、非正規雇用の比率が多いひとり親家庭に大きな影響をもたらし、困窮する母子家庭の増加や子供の貧困をさらに招きました。

加えて、この5月に可決成立した共同親権を導入する民法改正案や、寡婦の高齢化による健康不安や介護の問題なども新たな課題となっています。

一方で、高等教育の無償化、児童扶養手当の所得制限限度額の引き上げ、第3子以降の加算額の増額、児童扶養手当と障害年金の併給調整の見直しなど明るいニュースも出てきています。

このような中、私達は、なお一層仲間とともに自立支援の施策を活用して正規雇用を目指すとともに、日常生活支援事業やこどもの居場所づくり事業などにより、子ども達の健やかな成長を育むとともに、母子・寡婦の生活の安定と福祉の向上を実現すべく努めなければなりません。

また、行政や関係機関等と一層の緊密な連携のもとに、地域に根差した活動の和を育み、自立への道を歩む努力を続けなければなりません。

私たち一人ひとりが持てる力を十分に発揮することを誓うとともに、今後の母子寡婦福祉の推進と充実を目指した取り組みに繋がることを願い、この大会を開催します。

**2 期 日** 令和6年10月13日（日） 13：00～16：00

**3 会 場** 京都テルサ  
京都市南区東九条下殿田町70 京都府民総合交流プラザ内  
TEL. (075) 692-3400

**4 参加者** 京都府母子寡婦福祉連合会会員 その他 （約300名）

**5 日 程**

受 付	12：00～
開 会	13：00
閉 会	16：00

## 【大会の部】

### ○ 次 第

開会のことば

黙 禱

斉 唱

『母に幸あれ』

主催者挨拶

(福) 京都府母子寡婦福祉連合会会長

来賓祝辞

京都府知事

京都府議会議長

(財) 全国母子寡婦福祉団体協議会理事長

来賓紹介

祝電披露

体験の発表

子ども代表 大橋諒さん (城陽市母子寡婦福祉連合会)

母親代表 山本香織さん(宇治市連合母子会)

大会決議

松田 直子氏 (長岡京市三つ和母子会)

大会申合せ

大橋 智美氏 (向日市三つ和母子会)

## 【全体研修会の部】

### ○ 講 演

「ネットトラブルから子どもたちを守るために」

講 師：京都府警察ネット安心アドバイザー

磯 崎 文 氏

## 【アトラクション】

### ○ 演 奏

支会で活躍するアーティスト演奏

斉 唱

『生き抜く白百合』

閉会の言葉

『今日の日はさようなら』

## 【閉 会】